

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	美郷町	会計名	農業集落排水事業	団体担当者	竹原 栄蔵
承認年度	平成20年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数						
④ 改善額	8149.0	27755.0	19,606.0	6544.0	21,211.0	a
⑤ 公営企業債現在高	876.0	865.0	11.0	1152.0	287.0	a
⑥ 累積欠損金比率						
					総合判定	a

3. その他

(i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年12月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)
 執行状況:平成24年9月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)

(ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成20年9月 説明
 執行状況:決算議会時に適宜説明

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for notes regarding the reasons for not meeting the planned target values and any unavoidable circumstances.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for notes regarding measures for improvement and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for notes regarding the progress of the improvement policy.

団体名	美郷町
会計名	農業集落排水事業

② 実質公債費比率 該当なし

類型

(i) 推移表

(単位: %)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	計画最終年度 (平成24年度)	計画前年度 (平成19年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成22年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成23年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成24年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	
実質公債費比率					再算定比率	

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for discussion of reasons for performance not meeting targets.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for discussion of improvement measures and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for discussion of the progress of improvement policies.

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for inputting details regarding the reasons for not meeting the planned target values and any unavoidable circumstances.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for inputting details regarding measures for improvement and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for inputting details regarding the progress of the improvement policy.

団体名	美郷町
会計名	農業集落排水事業

類型	a
----	---

④ 改善額

(i) 推移表

(単位: 百万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	449	1,361	3,752	1,309	1,278	8,149	6,544
実績値(B)	7,362	738	5,997	6,335	7,323	27,755	
乖離値(C) (B-A)	6913.0	▲ 623.0	2245.0	5026.0	6045.0	19606.0	21211.0
乖離率(D) (C/A)	1539.6%	-45.8%	59.8%	384.0%	473.0%	240.6%	324.1%

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位: 百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計		
峰区農業集落排水施設の機能強化事業		3,854				3,854	国交付金事業	8
緊急雇用創出事業による農集排施設資産台帳整備事業		3,359				-	国交付金事業	×
峰区農業集落排水施設機能強化事業実施工事		27,051				-	国交付金事業	×
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	-	34,264	-	-	-	34,264		
うち、やむを得ない事情	-	3,854	-	-	-	3,854		

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成21年度実績において、計画目標値に対して実績値が乖離している要因については、平成21年度に実施した西郷区峰地区農業集落排水施設の機能強化事業に伴う設計業務(3,359千円)、それに伴う実施工事(27,051千円)、また平成21年度緊急雇用創出事業臨時特例基金による農業集落排水施設資産台帳整備業務を実施(3,854千円)したことにより、管理運営費が増額となり改善額に影響が出たところである。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

今後は、管理運営費について経費抑制を図り、且つ、ストックマネジメントにより適切な改修工事を進めながらコスト削減に取り組む。また、平成23年度4月に料金改定により、約9百万の料金収入増となったが、過疎化、高齢化による水洗化人口の自然減見据えつつ、また、水道料金との均衡も図りながら平成28年に再度料金改定を行う予定である。

(v)改善方針の進捗状況

平成23年度以降の管理運営費についての経費節減や、平成23年度4月に料金改定を実施したことにより、平成23年度以降の料金収入の増を約9百万円見込んでいる。
平成24年度に総事業費47,495千円(国庫補助23,250千円、県費補助4,650千円、起債19,400千円)の機能強化事業を実施した。
また、起債償還のピークは平成27年度頃を予定しその後は緩やかに減少していく予定であるため、平成28年度に管理運営費の状況や起債償還の状況、また経済状況を勘案しながら料金の見直しを再度図る予定である。
平成23年度～平成24年度にかけて国庫補助事業(100%:平成23年度6,000千円、平成24年度5,000千円交付)により、施設の機能診断を含めた、最適化構想を策定した。

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

美郷町内に存在する農業集落排水処理施設(6施設)の老朽化等による機能強化事業は、平成21年度に西郷区峰地区の実施完了、平成24年度には南郷区神門地区が完了したところである。今後もストックマネジメントによる適切な補修工事を行い、将来に渡って出来るだけ投資を抑制するよう努める。

また、平成23年4月に料金改定を実施し、約9百万円の料金収入増となった。(130円/㎡を目指した、基本料金1,050円→1,260円/10t、超過料金105円→130円/1tへの改定)。美郷町として、健全経営が見込まれる単価は170円/㎡であるので、昨今の経済状況や地域周辺自治体との比較等や平成27年度には起債償還のピークを迎えること等もふまえ、平成28年度に再度料金の見直しを実施し、最低限の経営努力として確保すべき料金収入単価の150円/㎡を目指す。

(v)改善方針の進捗状況

平成24年度に神門農業集落排水施設の老朽化に伴う機能強化事業を実施した。起債償還のピークは平成27年度頃を予定し、その後は緩やかに減少していく予定である。

平成28年度に管理運営費の状況や起債償還の状況、また経済状況を勘案しながら料金の見直しを再度図る予定である。

また、平成23年度～平成24年度にかけて国庫補助事業(100%:平成23年度6,000千円、平成24年度5,000千円交付)により、施設の機能診断を含めた、最適化構想を策定し、将来に渡る投資抑制を図る。

団体名	美郷町
会計名	農業集落排水事業

⑥ 累積欠損金比率 該当なし

類型

(i) 推移表

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	計画最終年度 (平成24年度)	計画前年度 (平成19年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成24年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績値(B)			
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
平成24年度					
合計			-		

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--